

我が胸の  
(平野国臣)

解説 自分の胸にたぎる熱き思いを、噴煙たなびく桜島の姿と比較しても、自分の方が勝っていると思うとした詩。

我が 胸の 燃ゆる 思いに くらぶれば

語釈 ※我が胸の〓自分の心のうち。※燃ゆる思い〓尊王攘夷への熱く激しい思い。※くらぶれば〓比べると。花の香りがする。

煙は 薄し 桜島 山

通釈 私の心のうちにある熱い尊王攘夷への情熱にくらべてみると、あの噴き上げている桜島の煙など、まだまだ薄い。